

	令和6年度取組状況	令和7年度事業計画
刈谷医師会	・3市(知立・高浜・刈谷)で月1回委員会を開催。 ・医療資源の把握、後方支援ベッド提供病院や在宅診療所の把握や更新を年1回行っている。 ・研修会を9月・11月に、意思決定支援、排泄ケアの研修会をそれぞれ実施。3月15日に交流会を実施。交流会では、43名の多職種が参加。アンケートでは、「有意義であった」「もっと年に2～3回交流会をしてほしい」などの意見あり。 ・市民受けの啓蒙活動としては、市民講座参加者に啓発用ボールペン配布。 ・市民講座の際にパンフレットを配布。	・医療資源の把握、在宅支援診療所や後方支援病院などの把握、更新予定。 ・認知症サポート医養成研修修了者名簿及びかかりつけ医認知症対応向上研修修了者の名簿を医師会ホームページに掲載 ・研修会を2回、多職種交流会を予定。詳細は未定。 ・市民向け講座実施予定。詳細は未定。
刈谷市薬剤師会	・薬剤師向けには、毎月の例会での勉強会を実施、県薬からの情報提供を共有。 ・市民向けには、福祉健康フェスティバルでの情報提供、在宅介護などの情報普及。	・令和6年度実施内容については、令和7年度も引き続き実施予定。 ・在宅に力を入れている薬局をリスト化。 ・LINE公式アカウントを作成。運用方法については未定だが、窓口として一旦活用。薬剤師会への相談等に活用していただきたい。別添1-1参照
刈谷豊田総合病院	・診療報酬の改訂に伴い、より急性期病院としての機能分化。早く地域へ戻すよう国の動きが加速されているため、病院内でも改革を進めているところ。 ・地域医療支援病院としては、情報発信や研修会を開催し、地域全体での質の向上を図っている。特にKRCは、今年度17回に増やし、医師以外の職種向けの内容で開催している。合計813名の多職種が参加。 ・ケアマネからの担当医連絡票が331件 ・退院時共同指導、介護支援等連携指導はそれぞれ月10件程実施。 ・在宅医療・介護連携支援センターについて、相談件数は昨年度より伸びている。相談者属性として、福祉関係(包括支援センター)が6年度は少ないため、10月から広報活動を開始。別添1-2参照。	・引き続きKRC17回、医師等の症例検討会、言語聴覚士の嚥下研修会等、35回程多職種向けの研修会を実施予定。 ・地域連携室で、公式Instagramにて8月30日・12月18日に相談窓口の情報更新予定。
社会福祉協議会	・訪問介護用のICT機器を活用している。 ・ヘルパーの人材不足。新たに5名採用。 ・障害の事業で、事業所が閉鎖したことで移動支援の利用依頼や、総合事業の方の依頼が多い。移動支援は全体で25%増加。	・市からの委託事業で、産後とひとり親世帯へのヘルパー派遣を実施しているが、令和7年度から、子育て世代へのホームヘルプ事業が追加になった。 ・ICT導入により、法人内の包括、居宅、デイサービスでも同じシステム導入となり、今後はデータベースで報告していけるようになる。法人内だけでなく、同じシステムを使っている包括や居宅とも共有していく予定。

	令和6年度取組状況	令和7年度事業計画
刈谷・知立・高浜訪問看護ステーション連絡協議会	・BCPについて、事業所がどのように連絡するかについて検討。LINEのオープンチャットを活用して各事業所の責任者がつながっている。 ・広報活動については、各事業所で行っている。令和6年度は福祉健康フェスティバルに参加。地域との連携強化を図るため、地域住民に対する勉強会や相談会を実施している事業所もある。 ・会議は5月・7月・12月・1月に開催。	・18事業所が参加。 ・定例会が年3回、勉強会年2回予定。5月31日にBCP対策への地域課題として勉強会を実施予定。 ・定例会議では、訪問看護の現場課題の共有、医療介護連携会議の報告、困難事例や報酬改定などの情報共有を行う中で、特に力を入れているのがBCP。オープンチャットを活用して情報共有することになっている。具体的な使用方法や、実際の災害時にどのような情報共有を行うのか内容の検討をしている。また、各事業所でBCP立ち上げて対策をしているため、活動の共有を行っている。 ・訪問看護の広報活動は各事業所で行っている。福祉健康フェスティバルに参加したり、サロンや勉強会、相談会を実施している事業所もある。
刈谷市療法士連絡会	・6月に総会を実施。27施設297名が療法士会に加入。 ・10月福祉健康フェスティバルに参加。握力測定や嚥下機能の評価を実施し、240名が体験。 ・地域リハ活動支援事業 令和5年度6件→令和6年度18件 ・生活機能向上訪問事業 令和5年度22件→令和6年度9件 全包括から依頼を受けた。	・令和6年度実施内容については、令和7年度も引き続き実施予定。 ・26施設が加盟 ・短期集中予防サービスについてのモデル事業として市内4事業所で動きがある。
刈谷市ケアマネ連絡会	・月1回役員会開催。年2回主任介護支援専門員更新研修要件を満たす3時間の研修会開催。 ・9月BCPについて、2月ACPIについての研修会実施。居宅の特定事業所加算算定の事業所が中心となって事例検討会を実施。 ・えんjoyネット刈谷で役員会の報告や研修会の案内を掲載して共有している。 ・刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携会議へ出席。連携マニュアル内にある、入退院情報連携シートの再作成を行った。 ・懇話会等会議に参加。	・えんjoyネット刈谷で役員会の報告や研修会の案内を掲載して共有している。全体の84%が登録、閲覧者数はそのうちの半数程度のため、今後も情報発信等取り組んでいく。 ・年2回主任介護支援専門員更新研修要件を満たす3時間の研修会を9月・2月開催。事例検討会も併せて行っていく。 ・刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携会議へ出席。 ・市の懇話会等会議に参加。 ・役員会は月1回。今年度の研修会の計画や、ケアマネ同士の交流が図れるよう考えて開催していきたいと考えている。
愛知県歯科衛生士会	・9～11月 地域包括ケア対応歯科衛生士養成事業研修会実施。刈谷市総合文化センターで開催し、21名参加。 研修の目的は、県下の地域包括ケアに関連した自立支援や要介護高齢者への支援を主体的に実践できる歯科衛生士の指導者になれる歯科衛生士を養成すること。 研修を受けた上で、多職種連携会議に出席している。基礎研修では、行政の保健師を招き、地域での現状と課題、地域資源や高齢福祉の実状を勉強。実践研修として、県内の個別かいぎで取り上げられた事例を用いてグループワークを実施。 ・色々な団体の研修に参加。地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業地域研修会を2月に実施。地域の介護予防に取組、地域の高齢者サロン、行政での介護予防教室に十字ができるような歯科衛生士を育成している。 ・歯科医師会から依頼があった8020の表彰式では、歯科衛生士からお口のお話と健康体操を実施。福祉健康フェスティバルに参加。	・高齢者医療福祉関連の研修会が三河地区では10月に行われる。 ・他市では、要介護版多職種の協働カンファレンスに12回、自立支援サポート会議に8回参加予定。 ・歯科衛生士会としては、依頼を受ければ、小さい事業所であっても教室や研修会はさせていただくので、何かあればご連絡を。

	令和6年度取組状況	令和7年度事業計画
衣浦東部保健所	・令和3年度から、ケアマネ・事業所向けに介護保険を利用する患者に向けて病院の窓口一覧を作成。 ・刈谷市、安城市、知立市の会議に出席。西三河医療圏在宅医療介護連携推進事業担当者会議にも出席。 ・県方針として、在宅医療・介護連携推進事業について保健所が主体的にすることは今年度で廃止と聞いている。衣浦東部保健所としては、市から依頼があれば引き続き会議に参加し、他市の情報共有等していく。 ・えんjoyネット刈谷での研修等の情報は、保健所内で情報共有を行っている。	・市町村支援を行っている。刈谷市、知立市、安城市、高浜市の会議に出席。 ・介護保険を利用する病院窓口一覧を更新中。6月に関係機関に周知予定。 ・えんjoyネット刈谷について、個別支援等は健康支援課が行っているため、健康支援課とも情報共有。 ・こころの健康推進グループでは、支援者向けのアルコール相談対応技術者研修を行っており、また関係機関に通知させていただく。
地域包括支援センター	・自立支援型地域ケア会議を実施。 ・各地域包括主催の地域ケア会議に参加。地区課題の検討や、困難ケースの課題解決を目的として実施。 ・保健師、看護師部会を偶数月に開催。 ・各地域包括との後方支援や連絡調整を行っている。虐待、困難事例のケース対応も行う。	・各包括については、別添1-3のとおり ・包括内の専門職の部会において、勉強会を計画している。医療と介護の連携を深めて在宅生活についての知識を増やすことで、包括業務の一助となるよう計画している。 ・障害者支援センターにある、基幹相談支援センター灯と共同して包括交流会と称して障害分野との交流を行っていく予定。障害者の事業所とも顔の見える関係づくりを行っていきたいと考えている。 ・各包括において、虐待・困難ケースの対応に苦慮する場面が多い。高齢者の課題に収まらず、困窮、引きこもり、DV、障害者支援等の課題が複雑化している印象。包括内だけで抱えるには限界があるため、関係機関と連携していきたいと考えている。